

鎌倉児童ホームにゴールデンウィーク前にお菓子を贈呈



フードバンクかながわで車一杯に食料を頂き

三浦半島労福協及び地域連合は4月27日(月)9時30分に『鎌倉児童ホーム』を訪れ、お菓子や飲み物を中心に471点・180キロを寄贈しました。

今、児童ホームでは児童たちは学校が休校になっており、通常の食材はもちろんのこと、おやつがわりになるものなどが大量に必要になっています。

この様な話しを受けて、今回、急遽お菓子や飲み物を中心に寄贈しました。

お菓子の中には鎌倉名産の『くるみっこ』180個も含まれていて、非常に好評でした。

本来であれば、現在、コロナウイルス感染防止の観点から郵送することがベストではありますが、471点・180キロと乗用車ほぼ満杯になる量を郵送する

とコストが非常にかかってしまうため、施設に連絡をして園長のみにお渡しすることとして、事務局1名で訪問しました。

鎌倉児童ホーム園庭では多くの児童たちが学校に行けず園庭でボール遊びをしていました……

職員・児童もコロナウイルス感染がおさまり、一日でも早く通常の生活が戻ることを願っていました。

今回のような急に食品などが必要な時にフードバンクかながわは非常に助かります。

現在、三浦半島労福協及び地域連合は構成組織・団体の皆さんとともにフードドライブを進めていますが、一点でも多くの集約をお願いします。

児童ホーム園長に寄贈

